

2 家庭で備えるーマイ・タイムライン活用のすすめー

水害は地震とは異なり、気象庁が発表する予報などによって、洪水や土砂崩れなどの災害のリスクを予測できる場合が多いです。

水害への対策としては、事前に、災害時の行動計画「マイ・タイムライン」を作成しておき、定期的に見直すことが重要です。「マイ・タイムライン」を作っておくことで、災害時にとるべき行動を、警戒レベルに合わせて時系列で明確にできるため、いざという時に慌てたり、逃げ遅れを防ぐことができます。また、「マイ・タイムライン」で家族と災害時の行動を共有しておきましょう。

災害発生時の避難場所は、市が指定する避難所だけではなくありません。感染症などのリスクや豪雨の中で避難所に向かうことを考慮すると、「分散避難」を視野に入れることが重要です。例えば、ハザードマップで自宅の2階が浸水しない

想定となっている場合には、2階に避難したり、安全な知人の家に避難することが最善の避難行動であることもあります。被害を最小限とするためには、平常時からの準備が必要です。これから、集中豪雨や台風が発生しやすい時期となります。災害時の行動について考えましょう。

分散避難のすすめ

災害時には、自分の置かれている状況や、気象の状況に合わせて適切な避難先を選択することが大切です。また、避難時には水や食料、携帯トイレなどを準備しましょう。

自宅（垂直避難）

- ・2階まで浸水しないことが想定されている場合
- ・夜間など、避難が困難な場合



親戚、知人宅

- ・浸水しない安全な地域にある場合

安全な地域へ車で避難

- ・遠く離れた地域へ避難する場合
- ・持ち出す荷物が多い場合など

神社・仏閣・集会所など

- ・地区内の浸水しない建物である場合
※事前に施設管理者などと申し合わせが必要

市指定避難所

- ・自宅が危険で車による避難もできない場合
※感染症予防が必要

マイ・タイムラインの作成を支援します！

「作り始めたけど、書き方がよくわからない」「どこに気をつけて書けばいいの？」という疑問に防災課職員がお答えします。

自治会などの団体でも、個人でも受け付けます。お気軽に防災課へご連絡ください。

●問合せ 防災課 防災対策係
☎ 0256・77・8381



LINEでの作成はこちらから▶



作成方法を動画で解説しています▶

マイ・タイムライン作成のポイント

- ①家族で話し合いながら作成することで、災害時の行動を共有できます。
- ②情報収集の方法を確認し、登録が必要なものは事前に準備しましょう。



- ③避難前に準備することを考える
 - ④避難時の注意点を考える
 - ⑤避難方法や避難のタイミングを考える
- マイ・タイムラインは市ホームページで公開しているほか、防災課（市役所3階2番窓口）で配布しています。また、市公式LINEでも作成ツールを用意しています。

マイ・タイムラインを作ろう！

はん濫発生



避難指示 発令！

どこに逃げればいいのか。あ、スマホの充電が…



高齢者等避難 発令！

高齢者等避難 発令？



台風発生

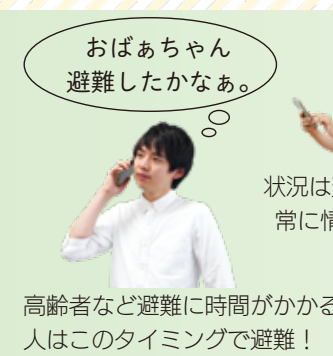
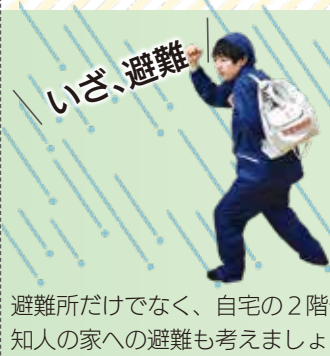
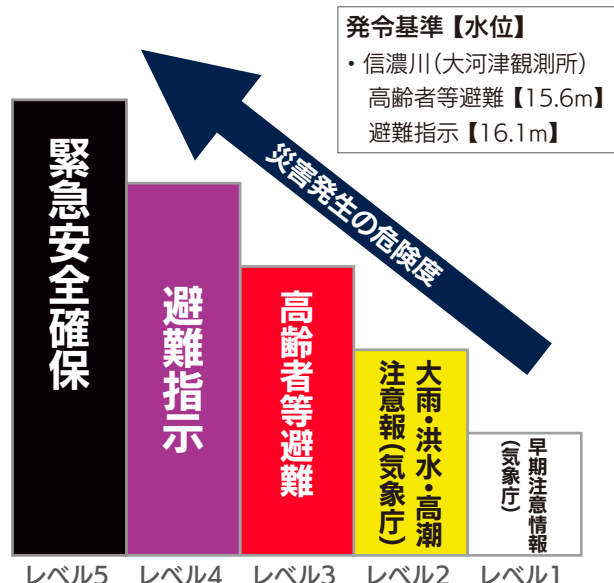
直撃するのかな？



作らなかった未来

「警戒レベル」に合わせて行動！

レベル3で高齢者などは避難！
レベル4で全員避難！



作った未来

マイ・タイムラインを作った未来



防災課 岡岡主事